

総合人間科学系 全学教育センター

自律した〈私〉が自由に生きるための 社会を探る

憲法の基本原理や歴史などを学ぶ〈日本国憲法〉や、意見や考え方が異なる人びとと共生するためのルールのある方を人権の観点から考える〈共生のための人権研究ゼミ〉などを担当しています。

専門は憲法学・比較憲法学（アメリカ憲法）。主に日本国憲法18条が保障している〈奴隷の拘束からの自由〉をどのように解釈すべきか、奴隷制を憲法で廃止した19世紀中頃のアメリカ立憲主義を素材としながら研究しています。また、高校生の政治活動の自由や、社会における不平等を裁判所が解決する方法についても研究しています。

人文・社会・環境科学
教育部門

研究から広がる未来



小池 洋平 准教授

早稲田大学人間科学部卒業。同大学院社会科学研究所修士課程修了後、同大学院博士後期課程修了（博士・社会科学）。早稲田大学社会科学総合学院助手等を経て、2019年に全学教育機構に着任。現職に至る。

憲法が保障する人権を研究することは、自分が自律した個人として自由に生きるための社会の条件を探究することでもあります。

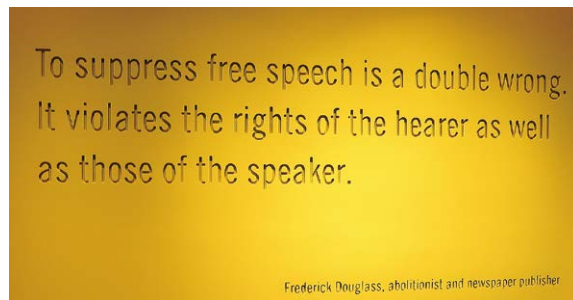
なぜ憲法が人権を保障しているのか。憲法が保障する人権の中身は何なのか。

このような「問い」を出発点として人間と社会の関係性を徹底的に考えることで、公正かつ自由な民主社会の実現に貢献することができます。

卒業後の未来像

異なる価値観を持つ人びとと共生する現代社会では、絶対的に正しい正解は一つとは限りません。しかし、このような社会だからこそ、個人を尊重するために公権力が踏み越えてはならないラインもあるはずです。

人権について疑問を持ち、悩みぬくことでそれを発見して欲しいと思います。

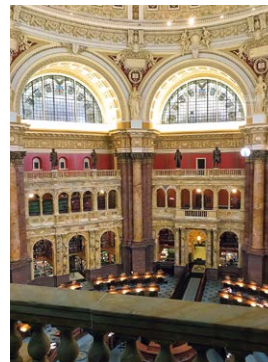


Frederick Douglass, abolitionist and newspaper publisher

Washington D.C.にあったNEWSEUMの壁に刻まれたFrederick Douglas（奴隷制廃止論者）の言葉。〔写真はすべて小池撮影〕



アメリカの奴隷制廃止に貢献したAbraham Lincoln大統領。



アメリカ連邦議会図書館のメイン閲覧室。外国人でも無料で利用できます。